

2021

12/20 月

13:30~16:15 (受付13:00)

サンドーム福井 管理棟2F 小ホール

福井県越前市瓜生町5-1-1

オンラインでも参加できます!

参加費
無料

定員100名

環境保全型農業研修会

主催 福井県農林水産部流通販売課

福井県では、有機栽培や特別栽培といった環境にやさしいエコ農業を推進しており、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動に取り組む農業者団体を支援しています。

環境にやさしい農作物の生産や地球温暖化の原因となるCO₂の削減が世界的に求められている中で、農林水産省は今年5月に策定したみどりの食料システム戦略で目指す姿を示している。そのような状況の中で、本事業の有機農業の取組に対する単価が昨年度から増額されたことに伴い、有機農業の栽培技術、経営管理技術、理解促進方策について学ぶための研修会を開催します。

プログラム

演題
1

「コメ消費が減る中で、どんなお米が
実需者から求められているか」(仮)

講師:住吉 良太 氏 たじま農業協同組合

演題
2

「緑肥を活用した稲・麦・大豆の
有機輪作体系の実践」(仮)

講師:川俣 文人 氏 有機農業者(NPO法人民間稲作研究所)



問い合わせ・申込み

担当 福井県農林水産部流通販売課 両角(もろずみ) 電話 0776-20-0419

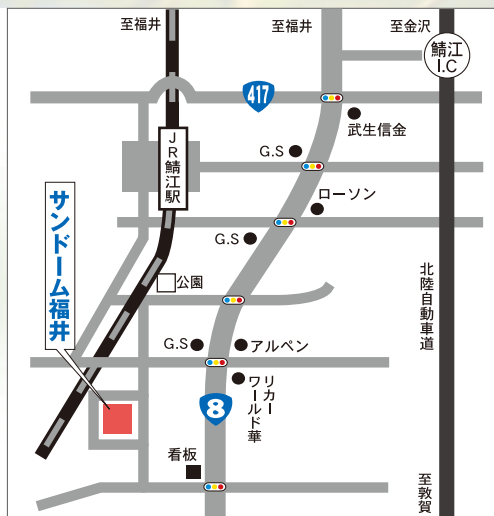
下記受講申込書に、氏名、住所、所属、連絡先電話番号をご記入の上FAX、またはメールでお申し込みください。

オンライン参加をご希望の方は必ずメールにてお申し込みください。当日配信のURLをお送りします。

申込み期限:12月13日(月)

FAX 0776-20-0649 メール y-morozumi-ne@pref.fukui.lg.jp

※コロナ感染対策のため、住所および連絡先電話番号は必ずお書きください。



環境保全型農業研修会 受講申込書

→FAX:0776-20-0649

氏名	住所	〒	-
所属		連絡先電話番号	- -
氏名	住所	〒	-
所属		連絡先電話番号	- -

※定員100名になり次第締め切らせていただきます。



講師紹介

住吉 良太 氏 たじま農業協同組合 米穀課



●主な受賞歴(たじま農業協同組合)

2009年 第1回生物多様性日本アワード特別賞受賞

2010年 第12回グリーン購入大賞環境大臣賞受賞

2013年 第42回日本農業賞(第9回食の架け橋賞)大賞受賞

2017年 「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」有機農業・
環境保全型農業部門農林水産大臣賞受賞

2003年から環境に配慮した「コウノトリ育む農法」の普及を推進し、コウノトリの野生復帰への取組と合わせ、生産者、行政、JAが三位一体となって環境保全型農業に取り組む体制を構築し、実需者とも連携して農薬を減らした栽培を470ha(2020年)で行う。

「コウノトリ育む農法」で生産された「コウノトリ育むお米」の販売にあたっては、消費者との交流や体験学習の受入、活動成果の情報提供などにより、消費者への理解増進を図る活動を行うだけでなく、商談会での仕入れ企業への提案や小売店での販促活動の実施により、販路の確保・拡大に取り組んでいる。また、事務局として有機JAS団体認証取得や輸出促進にも取り組み、理念や取組内容が評価され8つの国・地域に輸出するなど、海外からも認知されている。

川俣 文人 氏 有機農業者(NPO法人民間稲作研究所)




●主な経歴

2004年 岩手大学農学部森林科学科 卒業

2005年 民間企業を経て、NPO法人民間稲作研究所に所属(現 常任理事)

2005年から化学合成農薬や化学肥料を使わずに、自然環境を活かし利用する民間稲作研究所の考えに基づき、水稻・麦・大豆を中心とした有機輪作体系の実践と確立に取り組む。緑肥を活用した有機輪作体系での栽培面積は、2021年で15haとなり、広大な面積のほとんどを一人で栽培管理している。また、民間稲作研究所で培った栽培技術を基に、有機稲作を中心とした技術体系を広げていく活動を行う。現在は有機JAS認証機関の検査員や、有機農産物直売所の運営、里山林保全活動にも取り組む。



本研修会で学んだことや資料を基に技術マニュアルや普及啓発資料などを団体内で作成し、配布することで、環境保全型農業直接支払交付金における推進活動とすることができます。

※次年度以降の推進活動に利用していただくことも可能です。

